

## サステナビリティKPI（目標）の進捗状況（2023年度）

※ 過去の開示データから一部記載内容を変更しています。

※ 女性管理職比率の各年度実績は3/31時点の数値を掲載しています。また、目標数値は年度終了後の4/1時点としています。

マテリアリティと重点取り組み		KPI（目標）	目標年度	2023年度 実績・進捗	主な活動実施内容	2024年度 目標	対象		
							単体	関係会社 国内	海外
職場風土・ 働き方改革	社員（協働会社含む）の人権尊重	人権研修受講率：100%	継続目標	100%	・人権尊重に関する研修を実施	100%	○	○	—
	ハラスメントの根絶	ハラスメント研修受講率：100%	継続目標	100%	・当社オリジナルの研修資料を作成し、研修を実施（理解度テスト平均92.4点）	100%	○	○	—
	多様性のある人財確保、 女性の活躍推進	女性管理職比率：15%以上	2024	6.1%	・ダイバーシティに関する教育をライン管理職向けに実施 ・採用活動の強化 ・上記活動の結果、2024年4月1日時点の比率は8.8%	女性管理職比率：10%以上／えるぼし認定 （目標年度：2026年度） ※事業環境および事業構造改革に伴いKPIを変更	○	—	—
		障がい者雇用率：法定雇用率以上	継続目標	2.12% ※法定雇用率：2.3%	・2023年度の新規採用実績は1名 ・社内環境整備に関するヒアリングおよび改善の実施	法定雇用率以上	○	○	—
		70歳までの雇用制度の確立	2024	新人事制度の検討 教育の実施	・基本コンセプトの検討や人事管理体系の見直しを進め、新人事制度は2024年10月に導入見込み ・新人事制度導入後、雇用年限の引き上げに関する制度を整備予定 ・従業員の安定的な資産形成の構築や企業型確定拠出年金（企業型DC）に対する理解度向上を目的に、投資教育を実施	新人事制度導入	○	—	—
	DXを活用した生産性の向上	平均年間総労働時間を1,800時間台に削減	2024	1,865時間	・作業効率化に向けた社内インストラの更新 ・電子帳簿保存法への対応	1,800時間台	○	○	—
平均年間総労働時間を1,800時間未満に削減		2030	—	—	—	○	○	—	
コーポレート ガバナンスの 強化	コンプライアンス重視の経営	役員および部門長向けコンプライアンス教育の実施：年1回以上	継続目標	3回実施	・電気興業単体および国内グループ会社における全役員および全管理職を対象とし、取締役の義務・責任、法規制等に関するコンプライアンス研修をそれぞれ実施（受講率はすべて100%）	年1回以上	○	○	—
		コンプライアンス研修受講率：100%	継続目標	100%	・電気興業単体および国内グループ会社における全従業員に対し、コンプライアンス、内部統制、法令順守を含めたDKK Standardに関する研修を実施 ・概要編～詳細編まで全3回行い、いずれも受講率100%を達成	100%	○	○	—
	ステークホルダーとの コミュニケーションの推進	投資家との対話における取締役および 社外取締役の参画	継続目標	取締役のSRミーティング 出席回数：7回	・投資家とのコミュニケーション推進を目的に、当社のサステナビリティ活動の進捗状況に関するSRミーティングを2023年10～11月に実施 ・2023年9月開示サステナビリティレポート2023に、社外取締役のメッセージを掲載	ステークホルダーとの対話の継続 情報開示の強化	○	—	—
	経営における透明性の確保	取締役会実効性評価の実施：年1回	継続目標	1回	・2023年度に実施した実効性評価について、取締役会で内容を審議した上で、2024年度目標を策定 ・企業価値向上に資する経営戦略の議論の充実化、意思決定の迅速化に対する施策を実施する	1回	○	—	—
		取締役の年間取締役会出席率：100%	継続目標	単体：100% 国内連結：98%	・2023年度の電気興業単体および国内グループ会社における取締役会出席率は98%。当社単体では100%達成	100%	○	○	—
	情報セキュリティの強化	ISO27001認証取得	2024	単体100% 認証取得	・2023年度においては、目標通り、電気興業単体全部門にてISO27001の認証を取得 ・国内グループ会社の認証取得に向けた準備を開始	国内グループ会社4社 ISO27001 認証取得	○	○	—
セキュリティ研修受講率：100%		継続目標	100%	・電気興業単体および国内グループ会社全従業員に対し、情報セキュリティに関する研修を2回実施	100%	○	○	—	
社会インフラ 整備への貢献	より強固な 情報インフラの構築	キャリア5G、ローカル5G 関連製品の納品強化			・日本電気株式会社（NEC）が主催する「NEC軽井沢72ゴルフトーナメント」においてNECが実施したローカル5Gを活用したワイヤレスカメラによる映像伝送に、可搬基地局車の環境構築 ならびにローカル5G向けSub6帯アンテナを提供 詳細：2023年8月14日リリース「「NEC軽井沢72ゴルフトーナメント」におけるローカル5Gを活用した映像伝送に電気興業の「可搬型ソリューション」が採用」 URL（ <a href="https://denkikogyo.co.jp/wp-content/uploads/2023/08/2308142.pdf">https://denkikogyo.co.jp/wp-content/uploads/2023/08/2308142.pdf</a> ）		○	○	—
		通信設備の更新・保守案件、自治体等の防災 機能強化案件、安全装置システムに関する 部品用の誘導加熱設備等の売上高 ：2020年度比率15%以上	2025		・海上自衛隊が運用している対潜水艦向け放送設備「えびの送信所」（宮崎県えびの市）の老朽化に伴い、代替となる潜水艦放送系送信設備の新設に向けた基本設計業務を受注 詳細：2023年11月29日リリース「防衛省より令和5年度「潜水艦放送系送信設備に関する基本設計」業務を受注」 URL（ <a href="https://denkikogyo.co.jp/wp-content/uploads/2023/11/231129-1.pdf">https://denkikogyo.co.jp/wp-content/uploads/2023/11/231129-1.pdf</a> ）	通信設備案件、防災機能強化案件、 安全装置システムに関する 誘導加熱設備等の売上高 ：2023年度比率35%以上 （目標年度：2026年度） ※事業環境および事業構造改革に伴いKPIを変更	○	○	—
	防災事業の推進による 安全の確保			・トンガ王国における早期警報システムの構築、防災体制の強化プロジェクトに参画。当社の実績・ノウハウを生かし、中波アンテナ設備の設計、製作、現地施工を完遂 詳細：2023年7月5日リリース「トンガ王国 早期警報システムの構築における中波アンテナの建設」 URL（ <a href="https://denkikogyo.co.jp/wp-content/uploads/2023/07/230705.pdf">https://denkikogyo.co.jp/wp-content/uploads/2023/07/230705.pdf</a> ）			○	○	—
	自動車社会の安全性の強化			・高周波誘導加熱設備を用いた熱処理部品の有償試作に関して、2023年度は64件の試作を受注 ・高周波誘導加熱設備を用いた熱処理部品の試作要望に対応する新たな高周波熱処理研究施設である「東海熱処理研究センター」設立に向けた準備を開始 詳細：2024年1月29日リリース「東海熱処理研究センター設立に関するお知らせ」 URL（ <a href="https://denkikogyo.co.jp/wp-content/uploads/2024/01/240129.pdf">https://denkikogyo.co.jp/wp-content/uploads/2024/01/240129.pdf</a> ）			○	○	—
	安全・品質の確保	経営事項審査申請に係る当社技術者の 国家資格保有率：70%以上	2025	67%	・資格取得率向上を目指し、施工管理技士の科目毎に「勉強・情報交換会」を複数回実施 ・二次検定不合格者へ不合格要因に関するヒアリングを行い、その意見等を勉強会に反映	技術資格保有率向上策の 実施	○	—	—
社有車のASV（先進安全自動車）化：100%		2030	単体：48.6% 国内連結：19.3%	・電気興業単体および国内グループ会社において、順次社有車のASV化を実施	社有車のASV化の取り組みを継続	○	○	—	

## サステナビリティKPI（目標）の進捗状況（2023年度）

※ 過去の開示データから一部記載内容を変更しています。

※ 女性管理職比率の各年度実績は3/31時点の数値を掲載しています。また、目標数値は年度終了後の4/1時点としています。

マテリアリティと重点取り組み		KPI（目標）	目標年度	2023年度 実績・進捗	主な活動実施内容	2024年度 目標	対象		
							単体	関係会社 国内	海外
環境経営の 推進	カーボン・ニュートラルの 推進	Scope1,2温室効果ガスの排出量 ：2019年度比30%以上削減	2030	主要排出先の特定 削減施策案の作成 SBT認定取得に向けた取り組み開始	・Scope1,2主要排出先を特定した上で、4つの評価項目「GHG削減インパクト」「導入コスト」「技術的な導入障壁」「導入に要する時間」を基に、削減施策案を作成 ・SBT認定取得に向けて、2年以内のSBT認定取得を宣言する「コミットメントレター」をSBTi事務局に提出	SBT認定取得とSBT要件に整合した Scope1,2削減目標、計画の検討	○	○	○
		Scope3温室効果ガスの排出量 ：2019年度比15%以上削減	2030	2019年度分～2021年度分 算定完了	・Scope3の温室効果ガス排出量は、コンサルティング会社と協調し2021年度分まで算定完了 ・2022年度分以降に関しては、現在算定作業中。併せて自社内で算定する体制構築を検討 ・温室効果ガス排出量削減に向けた取り組みについて排出量の多い分野、財務インパクトの大きい分野を中心に削減方針等を検討開始	2022年度分～2023年度分算定完了 SBT認定取得とSBT要件に整合した Scope3削減目標、体制構築、施策検討	○	○	○
		再生可能エネルギー利用の推進 ：定量目標なし（フォロー項目）	—	フリー電力プラン導入による GHG排出量削減案の検証	・Scope1,2主要排出先であるデンコテクノヒート㈱、当社厚木工場の2拠点にてフリー電力プラン（再生可能エネルギー）に切り替えた場合のコスト等の調査を実施 ・調査結果を受け、フリー電力プラン導入による温室効果ガス排出量削減可否の検証を行い、拠点別削減施策案の作成を行った	再生可能エネルギー導入計画の 決定と実施	○	○	—
	循環型社会実現の推進	総排出量の再資源化率：96%以上	継続目標	2023年度の排出量を 集計中	・川越事業所（埼玉県）社屋リニューアルに向けた旧工場解体に伴う大量の廃棄物に関して、分別を徹底し廃棄コスト低減とリサイクル率低下抑制を推進	96%以上	○	○	—
		廃棄物排出量（t） ：定量目標なし（フォロー項目）	—		・資料のペーパーレス化や使用済みの作業服、安全靴、ヘルメット等の回収システムへの登録により、廃棄物の削減を推進	梱包材の再利用等、 使い捨て梱包の削減を継続	○	○	—
環境製品の拡充	環境負荷10%低減製品の開発 ：16種類以上	2030	グリーン調達ガイドライン制定 環境負荷10%低減に向けた施策検討	・2024年1月「電気興業グループグリーン調達ガイドライン」制定、現業部門向けの社員教育を実施 ・環境負荷10%低減製品に活用するための低減施策の検討および施策による低減効果について検証	グリーン調達ガイドラインの定着 環境負荷低減製品の拡充	○	—	—	
新規事業の 創出	無線・高周波技術の 新規活用、 サービス分野への進出	新規着手案件：年間5件以上 実績化累計：5件以上	2025 2030	AIソリューションによる 社会課題解決	・当社技術と㈱サイバーコアの画像解析AI技術およびクラウド技術を組み合わせ、盛岡市中心市街地における人流・交通分析システム整備事業を実施 詳細：2023年5月30日リリース「盛岡市にAI人流・交通分析システムを整備～中心市街地の地域活性化に貢献～」 URL（ <a href="https://denkikogyo.co.jp/wp-content/uploads/2023/05/0530.pdf">https://denkikogyo.co.jp/wp-content/uploads/2023/05/0530.pdf</a> ）  ・画像処理・画像認識・人工知能アルゴリズム開発を専門的に扱ってきた画像AIのバイオニアである㈱サイバーコアを子会社化（当社初のAI領域の子会社）し、「通信×センシング×AI」による強力なパートナーシップを構築 詳細：2023年8月25日リリース「AIを中心としたソリューション事業の拡充を目指し、株式会社サイバーコアの株式取得（子会社化）を決定」 URL（ <a href="https://denkikogyo.co.jp/wp-content/uploads/2023/08/2308251.pdf">https://denkikogyo.co.jp/wp-content/uploads/2023/08/2308251.pdf</a> ）	新規商材の事業企画の 立案・推進の継続	○	—	—
				鹿沼工場にて ローカル5Gシステム オープンラボを開設	・ローカル5Gを基軸としたソリューションの提供を見据え、ローカル5Gシステムやアンテナ、各種ソリューションが体感できるオープンラボを鹿沼工場内（栃木県鹿沼市）に開設 詳細：2023年8月8日リリース「鹿沼工場にて「ローカル5Gシステム オープンラボ」の開設」 URL（ <a href="https://denkikogyo.co.jp/wp-content/uploads/2023/08/230808.pdf">https://denkikogyo.co.jp/wp-content/uploads/2023/08/230808.pdf</a> ）		○	—	—
				高周波誘導加熱を応用した 過熱水蒸気技術による 持続可能価値提供事業の創出	・超高温過熱水蒸気システム「D-Rapid®」の顧客開拓および用途開拓を目的とした展示会への出展や、PR動画の製作を実施 詳細：2023年12月5日リリース「過熱水蒸気装置「D-Rapid™」製品紹介と製品開発者インタビュー、高周波部門紹介のPV完成のお知らせ」 URL（ <a href="https://denkikogyo.co.jp/wp-content/uploads/2023/12/231205.pdf">https://denkikogyo.co.jp/wp-content/uploads/2023/12/231205.pdf</a> ） ・産業廃棄物の減量化や各種食品の殺菌を可能にする「D-Rapid®」の用途展開を通じた、持続可能社会実現への貢献	高周波誘導加熱を応用した 過熱水蒸気による新事業の推進	○	—	—
				特許等の出願数増加に向けた 施策検討	・特許等の出願数増加に向けた施策検討のため、過去の出願件数の調査、社内アンケート等を実施 ・社内アンケートの結果等を踏まえ、社内規程の見直しおよび社内向け知財出願フォローチャートを作成	特許等の出願数増加に向けた 施策検討	○	—	—
				創造力開発研修 「企画制作プロジェクト」実施	・人材の育成に向けた企画制作プロジェクトを実施、累計46名を育成 ・管理職を対象としたハイレベル企画制作プロジェクトを開始	新規事業へつながる アイデアの吸上げとビジネス化	○	—	—